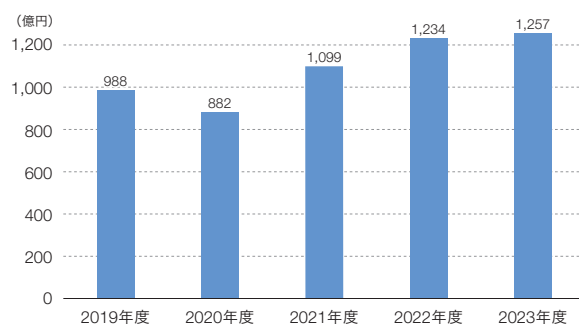


価値創造の全体像

財務・非財務ハイライト

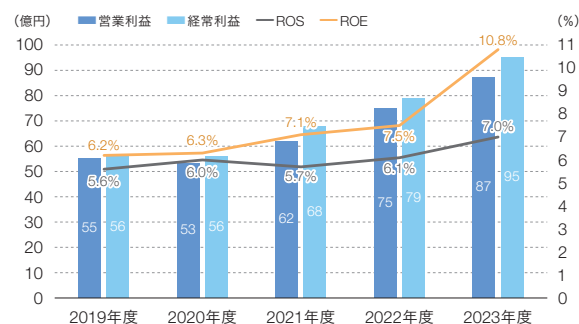
経済価値

売上高（連結）



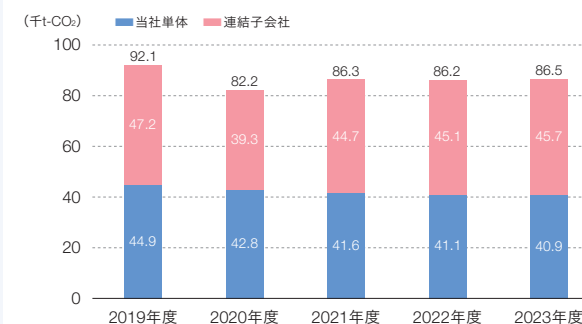
連結の売上高は、販売数量の増加や製品価格の適正化、円安の影響等により、3期連続で過去最高を更新しています。

営業利益・経常利益・ROS・ROE（連結）



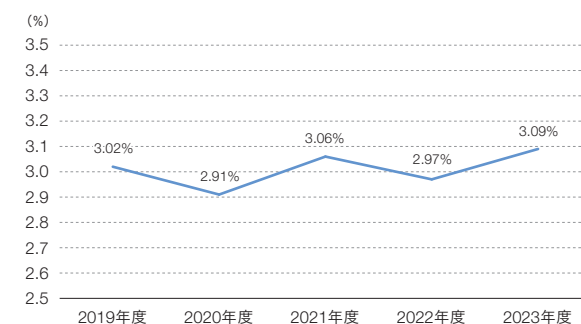
各段階の利益は、3期連続で過去最高を更新しています。2023年度のROS（売上高営業利益率）においても、過去最高を更新しました。なお、2023年度のROE（自己資本利益率）は、政策保有株式の売却益を含んでいます。

社会価値

CO₂排出量（Scope1+2）

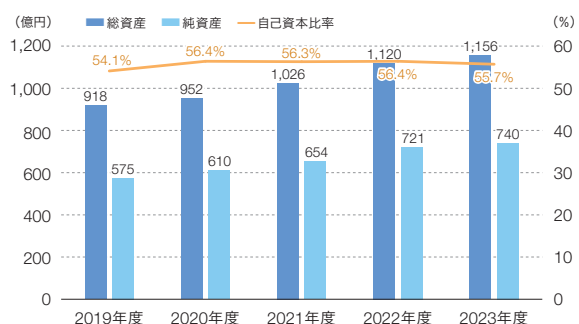
2030年度の当社単体のCO₂排出量の目標値は24,139t（2019年度比46.2%減）です。グループ全体で「2050年カーボンニュートラル」を目指し、CO₂排出量の削減に取り組んでいきます。

総廃棄物量の総生産量比（単体）



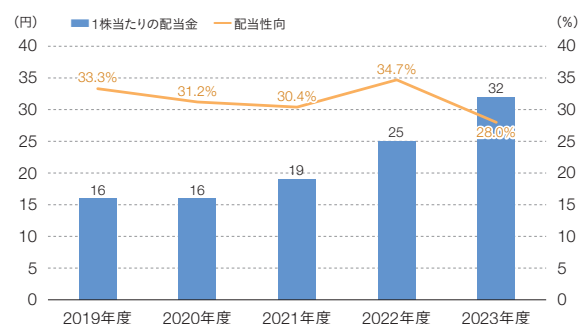
2023年度における当社単体での総廃棄物量の総生産量比は、長期在庫品の処分を実施したことが影響し、前年度比0.12%の増加となりました。

総資産・純資産・自己資本比率（連結）



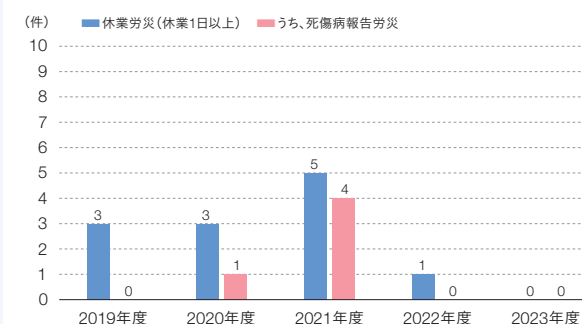
2023年度においては、政策保有株式の売却を実施しましたが、時価の上昇により総資産は増加しました。また、自社株式取得の実施により、自己資本比率は前年度比で減少しました。

配当金・配当性向（連結）



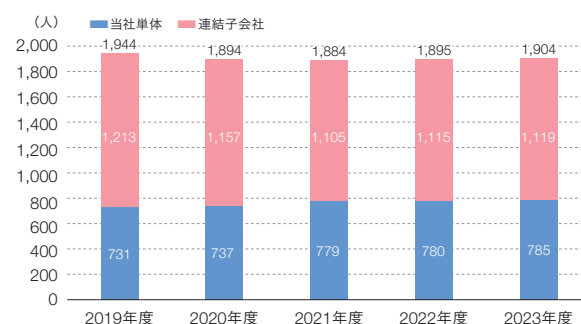
2022年度より配当方針を連結配当性向30%から35%程度へと引き上げています。2023年度も継続して増配を実施し、前年度比7円増配の1株当たり32円の配当金となりました。

休業労災発生件数（国内）



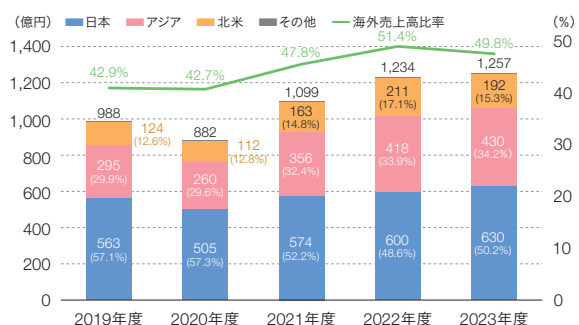
2023年度における国内（連結子会社を含む）での休業労災の発生はありませんでした。

従業員の推移



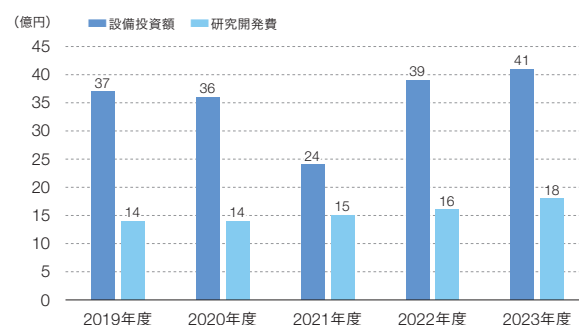
新卒採用やキャリア採用に加えて、リファラル採用やアルムナイ採用などを実施することにより、安定して人材の確保ができています。

地域別売上高比率（連結）



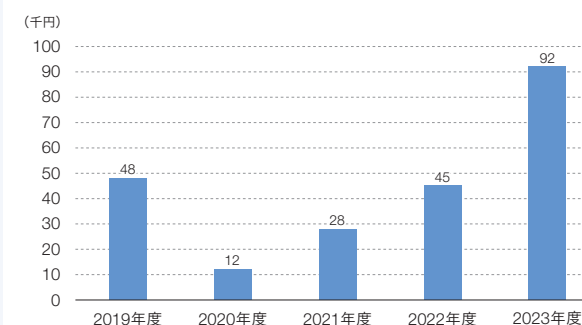
近年海外売上高比率が増加していましたが、2023年度は国内での販売数量・売上の増加に伴い、国内売上高が海外売上高を上回る結果となりました。

設備投資額・研究開発費（連結）



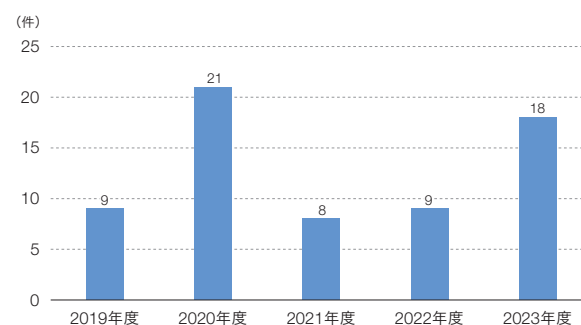
生産設備の能力増強、合理化、品質向上を図るとともに、「成長分野への経営資源の配分」に重点を置いた結果、2023年度における設備投資額は41億円、研究開発費は18億円となり、いずれも前年度比増加となりました。

一人当たりの育成費用（単体）



「チャレンジメーカーに相応しい人材の育成」に主眼を置き、経営戦略の実行に必要な人材の確保・育成に努めています。

特許出願件数（単体）



2023年度における当社単体での特許出願件数は18件で、前年度比9件の増加となりました。戦略的に特許出願を行うことにより、当社グループの競争力の更なる強化につなげていきます。